

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 地理歴史 科目 歴史総合

教科：地理歴史 科目：歴史総合 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 組～組

使用教科書：（詳解 歴史総合（東京書籍））

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】

我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 歴史の扉 【知識及び技能】 私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と関わらせて、諸事象と日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象についての課題を主体的に追究しようとする力を養うこと。	・ 歴史と私たち ・ 歴史の特質と資料	【知識・技能】 私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。 【思考・判断・表現】 近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と関わらせて、諸事象と日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象についての課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	1
B 結びつく世界と日本の開国 【知識及び技能】 18世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、18世紀のアジアの経済と社会を理解すること。 産業革命と交通・通信手段の革新、中国の開港と日本の開国などを基に、工業化と世界市場の形成を理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現すること。アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 18世紀のアジアの経済と社会、工業化と世界市場の形成についての課題を主体的に追究しようとする力を養う。	・ 18世紀のアジアや日本における生産と流通 ・ アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易 ・ 産業革命と交通・通信手段の革新 ・ 中国の開港と日本の開国	【知識・技能】 18世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、18世紀のアジアの経済と社会を理解している。 産業革命と交通・通信手段の革新、中国の開港と日本の開国などを基に、工業化と世界市場の形成を理解している。 【思考・判断・表現】 18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 18世紀のアジアの経済と社会、工業化と世界市場の形成についての課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	8
定期考査			○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
前期	C 国民国家と明治維新 【知識及び技能】 18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解すること。 列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現すること。 帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 立憲体制と国民国家の形成、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容についての課題を主体的に追究しようという力を養うこと。	・18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合 ・日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定 ・列強の進出と植民地の形成 ・日清・日露戦争	【知識・技能】 18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解している。 列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解している。 【思考・判断・表現】 政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 立憲体制と国民国家の形成、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容についての課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
後期	D 第一次世界大戦と大衆社会 【知識及び技能】 第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解すること。 大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達などを基に、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現すること。 第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制、大衆社会の形成と社会運動の広がりについての課題を主体的に追究しようとする力を養うこと。	・第一次世界大戦の展開 ・日本やアジアの経済成長 ・ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭 ・ナショナリズムの動向と国際連盟の成立 ・大衆の政治参加と女性の地位向上 ・大正デモクラシーと政党政治 ・大量消費社会と大衆文化 ・教育の普及とマスメディアの発達	【知識及び技能】 第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解している。 大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達などを基に、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。 第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制、大衆社会の形成と社会運動の広がりについての課題を主体的に追究しようとしている。	○	○		14
	定期考査			○	○		1
	E 経済危機と第二次世界大戦 【知識及び技能】 世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に、国際協調体制の動揺を理解すること。 第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現すること。 第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 国際協調体制の動揺、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰についての課題を主体的に追究しようとする力を養う。	・世界恐慌の時代 ・ファシズムの伸張と共産主義 ・日中戦争への道 ・第二次世界大戦の展開 ・第二次世界大戦下の社会 ・国際連合と国際経済体制 ・占領と戦後改革 ・冷戦の始まりと東アジア諸国の動向 ・日本の独立と日米安全保障条約	【知識及び技能】 世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に、国際協調体制の動揺を理解している。 第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 国際協調体制の動揺、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰についての課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
後期	<p>F 冷戦と世界経済</p> <p>【知識及び技能】 日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、国際政治の変容、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 国際協調体制の動揺、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰についての課題を主体的に追究しようとする力を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>冷戦下の地域紛争と脱植民地化</li> <li>東西両陣営の動向と1960年代の社会</li> <li>軍拡競争から緊張緩和へ</li> <li>地域連携の形成と展開</li> <li>計画経済とその波及</li> <li>日本の高度経済成長</li> <li>アジアのなかの戦後日本</li> </ul>	<p>【知識及び技能】 日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、国際政治の変容、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 国際協調体制の動揺、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰についての課題を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	10
	<p>G 世界秩序の変容と日本</p> <p>【知識及び技能】 石油危機、アジアの諸地域の経済発展、市場開放と経済の自由化、情報通信技術の発展などを基に、市場経済の変容と課題を理解すること。冷戦の終結、民主化の進展、地域統合の拡大と変容、地域紛争の拡散とそれへの対応などを基に、冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現すること。 冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 市場経済の変容と課題、冷戦終結後の国際政治の変容と課題についての課題を主体的に追究しようとする力を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>石油危機</li> <li>アジア諸地域の経済発展</li> <li>市場開放と経済の自由化</li> <li>情報技術革命とグローバルイゼーション</li> <li>冷戦の終結とソ連の崩壊</li> <li>現代の東アジア</li> <li>東南アジア・アフリカ・ラテンアメリカの民主化</li> <li>地域統合の拡大と変容</li> <li>地域紛争と国際社会</li> <li>現代と私たち</li> </ul>	<p>【知識及び技能】 石油危機、アジアの諸地域の経済発展、市場開放と経済の自由化、情報通信技術の発展などを基に、市場経済の変容と課題を理解している。冷戦の終結、民主化の進展、地域統合の拡大と変容、地域紛争の拡散とそれへの対応などを基に、冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現している。 冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 市場経済の変容と課題、冷戦終結後の国際政治の変容と課題についての課題を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	12
定期考査							1
							合計
							77